

平成30年度 第3回 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた検討委員会

第2回検討委員会後の取組について

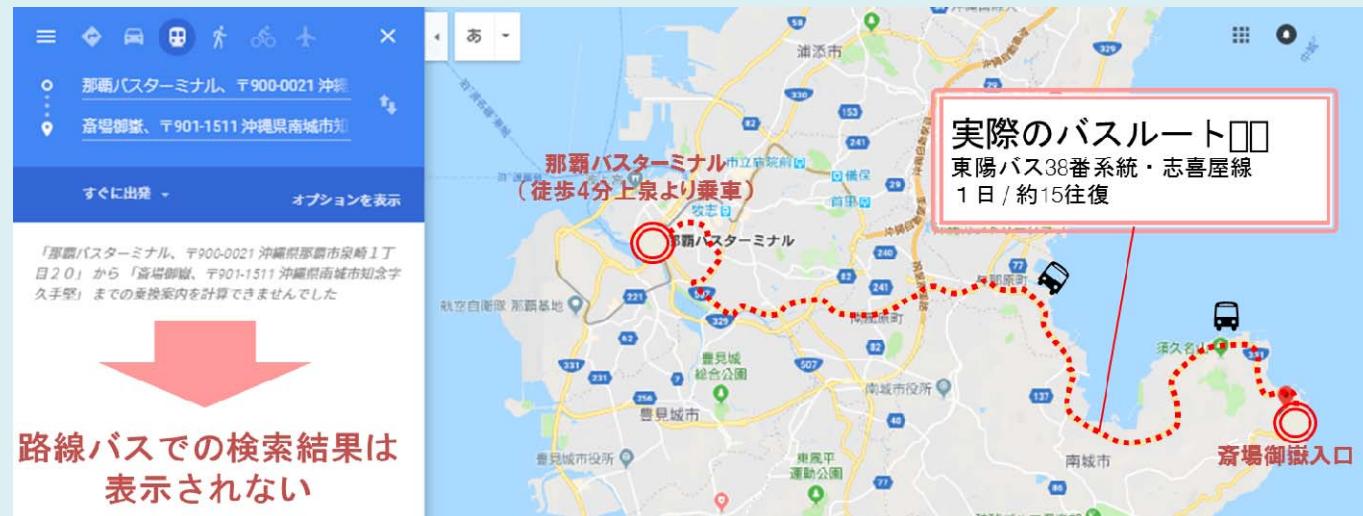
平成30年12月21日

1. 第2回検討委員会までの議論について

(事業の目的)

- 公共交通機関であるバス、モノレール、本島と離島を結ぶ足である船舶、観光客がもっとも利用するレンタカー、観光施設等の情報を、Google等の大手検索サイトや、民間のコンテンツ・サービス等での活用を促進するよう県が統一した整備基準にデータを加工・提供しオープンデータ化を図る。
- 沖縄に来る前に観光地から観光地への移動が事前検索できることで観光2次交通の満足度向上及び観光2次交通の分散化による交通渋滞の緩和に繋げることを目的とする。

▼県内の観光地への経路検索の現状（google mapでの検索例）



⇒第2回検討委員会までは、県としての統一した整備基準（補助事業の仕様書案）について議論

2. 補助事業者の選定

■平成30年7月9日

- ・第2回検討委員会　観光2次交通機能強化補助事業仕様書（案）について 等

■平成30年8月29日～9月11日

- ・補助事業者の公募
⇒ 3団体からの応募

■平成30年9月19日

- ・選定委員会　県・国・有識者の計6名により審査

⇒ 一般社団法人沖縄オープンラボラトリが補助事業者として選定

参考：本事業のスキーム

沖縄県

平成30・31年度の委託・補助を予定。

平成32年以降は補助事業者を中心とした継続・自走化を想定。

委託事業 ((株)オリエンタルコンサルタンツ)

- 検討委員会の運営
- 沖縄県版の観光2次交通データ仕様の検討
- 公共交通事業者等との調整
(データ使用の許諾・入手 等)
- 事業者の理解促進のための勉強会の開催
- 公共交通機関を活用したモデルコース（離島を含む8コース）検討
- オープンデータの拡散方法の検討 など

補助事業 ((一社)沖縄オープンラボラトリ)

- 委員会で検討した仕様および採択された申請内容・実施計画に基づき、委託事業者と連携し、以下の内容等を実施
- 沖縄県版の統一基準に基づく観光2次交通オープンデータ整備
 - 補助事業終了後の継続、自走に向けた県内の連携体制等の構築
 - オープンデータを活用したサービス等の検討・開発 など

成果イメージ

- ・観光2次交通情報等の沖縄版のオープンデータ
- ・大手検索サイト（Google、Yahoo!等）への拡散や民間による活用の促進
- ・継続・自走化に向けた検討、形骸化しないスキーム構築

3. 事業者向け勉強会・説明会の開催

	委員会等	事業者勉強会・説明会等	補助事業等
5月	第1回委員会 (5/18) ・データ整備仕様や 補助事業者要件など	本島 (5/18)	
6月			
7月	第2回委員会 (7/9) ・沖縄県版のデータ 整備仕様の検討など	八重山 (7/7)	
8月		本島 (8/16)	宮古 (8/8)
9月			
10月		八重山 (10/15)	宮古 (10/16) 補助事業者選定 ((一社)沖縄オープンラボラトリ) (データ整備開始)
11月		八重山 (11/2)	
12月	第3回委員会 (12/21) (個別のデータの使用許諾、データ収集)	本島 (12/20)	(宮古・八重山圏域のアウトプット)
1～3月	第4回委員会 (3月予定)		

4. 事業者との調整・情報収集

■公共交通事業者

- 現時点で路線バス、離島船舶等の51事業者中、41事業者から本事業のオープンデータ整備に係る許諾（情報提供に関する覚書の締結）
- 引き続き全事業者の賛同に向けた取組の実施

■レンタカー

- レンタカー協会加盟の営業所情報の許諾（26社70営業所）

■観光情報

- 沖縄観光コンベンションビューローとの連携
- やえやまナビ（南山舎株式会社）との連携など

